

「大会実施に伴い新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのガイドライン」

北海道空手道連盟

大会実施にあたり、北海道空手道連盟では下記の取り組みをしております。

- ①大会使用マットに消毒用薬剤をコーティングしております。
- ②手指消毒用のアルコールを用意しております。
- ③関係機関の指導のもと、新型コロナウイルス感染症対策に一丸となって取り組んでおります。

下記の点につきまして、選手・監督・引率・保護者・役員・審判員のご協力をお願いします。

【全般について】

- ② 大会2週間前から「入場証」にある事項について、健康状態の確認をお願いします。
- ②原則無観客（全空連の要請）ですが、選手1名に保護者1名までは可とします（厳守）。選手・引率者・監督・保護者・役員・審判員は「入場証」に必要事項を記入の上、正面玄関より入場ください。なお、入場の際は係員に検温をしてもらい、引換券をもらって会場内に入場ください。（検温により37.5℃以上ある方につきましては、入場できません）
※大会会場から何らかの理由により外出される場合は、入場時にもらった引換券をもって外出してください。
- ③開場前、体育館の前に並ぶことを厳禁とします。
- ④観客席については、ソーシャルディスタンスを保つため座席の使用制限がかかっています。使用禁止の箇所には座ることのないようにお願いします。
- ⑤会場内は、マスクを着用してください。また、競技場、練習場、観覧席への出入りの場合は、必ず設置してあるアルコール消毒を徹底すること。
- ⑥声を出しての応援は禁止します。
- ⑦ごみの廃棄については、各自お持ち帰りください。特に鼻水、唾液がついたごみやマスクは、確実に各自で処理してください。（ビニール袋に入れるなど）
- ⑧外靴のまま会場には入れません。靴袋を持参し（道空連では用意しません）各自で管理するようお願いいたします。なお、競技会場内・練習会場内（アリーナ内・サブアリーナ内）以外は、スリッパ等、必ず履き物を履いてください。
- ⑨本大会における忘れ物については、感染症対策により、即処分させていただきます。道空連では保管しません。
- ⑩本大会につきましては、自分の競技が終了した時点で、大変申し訳ございませんがお帰りください。同じ所属団体の選手がいるから応援するなどの対応はご遠慮ください。
- ⑪本大会は、開会式並びに閉会式は実施しません。表彰式につきましては、簡略化させていただきます。
- ⑫写真撮影、サイン、握手、ハイタッチ、円陣等は自粛してください。
- ⑬ソーシャルディスタンスを意識し、密になることを極力さけてください。また、ドアノブ等に触れた場合は、こまめに手洗い、手指消毒を心がけてください。

【練習場について】

- ①練習については、サブアリーナのみとします。玄関フロア等での練習は禁止します。
- ②サブアリーナについては、次の競技の選手を優先してください。係員はつきませんが、一団体が場所を独占するなどの行為は、禁止します。またサブアリーナについては、選手・監督・引率者以外の入場は禁止します。
- ③練習時は、マスクまたはメンホーを着用してください。
- ④練習会場内での私語は、必要最小限にしてください。気合いについても、練習会場内では極力控えてください。
- ⑤練習会場内では、水分補給以外の飲食は禁止します。

【競技について】

（形競技）

- ①演武時以外は、必ずマスクを着用してください。（競技前後の整列時はマスク着用）
- ②形の呼称はなしとします。気合いは可とします。
演武形がモニターに掲示されますので、確認の上、演武を開始してください。

（組手競技）

- ①メンホーの口元は、飛沫が飛ばないように、口元シールドで保護する。（事前にメンホー用口元シールドを道空連より送付します。）
- ②競技開始前の整列時には、マスクを着用してください。
- ③試合中メンホーあるいは口元シールドがとれた場合、コート内でソーシャルディスタンスを保ち、付けなおしてください。
- ④敗退した場合は、即アリーナ内から退出し、お帰りください。競技終了時の、整列しての挨拶は省略します。

終了後、新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、大会主催者に対して、各団体の長を通し速やかに報告してください。

個人 → 所属団体長 → 北海道空手道連盟 → （公財）全日本空手道連盟